

くまもと旅×スポーツ

熊本の雄大な自然、心身を癒す温泉や食、各地で実施されている様々なスポーツコンテンツを組み合わせた、観光色の強いスポーツツーリズム「くまもと旅×スポーツ」の更なる展開を図る。

I. 戦略の位置づけ

○ 本戦略の策定にあたっては、「くまもと新時代共創基本方針及び総合戦略（2024-2027）」、「ようこそくまもと観光立県推進計画（2024-2027）」を踏まえるとともに、「第3期熊本県スポーツ推進計画（2024-2028）」とも連携を図りながら推進する。

くまもと新時代共創基本方針及び総合戦略【施策】
4 スポーツ、観光、文化芸術の振興
①スポーツ政策の推進
スポーツが交流人口の拡大と地域の活性化に与える影響にも着目し、スポーツ政策を戦略的に推進

ようこそくまもと観光立県推進計画
【戦略Ⅰ】
6 スポーツを通じた地域活性化と交流人口拡大を図るスポーツツーリズムの推進

（関連計画）
第3期熊本県スポーツ推進計画

II. ビジョン スポーツの力で地域を豊かに

スポーツツーリズムの推進基盤やマネジメント体制を強化し、国際大会をはじめとする大会の招致や合宿の誘致、プロスポーツの振興に加えて、熊本の強み・優位性とスポーツを組み合わせたスポーツツーリズムを展開することにより、持続可能な交流人口の拡大や県民の健康と地域を豊かにする本県スポーツの産業化を目指します。

【計画期間】令和7年度（2025年度）～令和9年度（2027年度）の3年間

III. 現状と課題

《第1期戦略（2021年度～2023年度）の成果》

- くまもと×スポーツコンテンツの開発
スポーツと観光資源を組み合わせたコンテンツ開発・磨き上げ
- スポーツと観光地を繋ぐ「くまもと旅スポブランド」の創造
スポーツと観光地のネットワーク化や旅行商品開発
- 集客力があり、参加できる大会の招致
国際スポーツ大会やプロスポーツによる誘客、アーバンスポーツ振興
- くまもと旅×スポーツツーリズムを推進する体制の整備
コミッション設立、人材育成、プラットフォーム整備

《推進基盤の脆弱性》

- 窓口機能、推進組織の強化や財源確保の必要性
- スポーツ施設の老朽化や「みる」スポーツに求められる施設・設備等の不足

《外部環境の変化》

- 社会経済の動向（人口減少・少子高齢化、健康志向・フィットネス産業の成長、「みる」スポーツに対する関心の高まり、国際交流の進展）
- スポーツ界の動向（各競技のプロ化、国際スポーツ大会の大規模化、スポーツ施設に求められる基準や役割の変化、アーバンスポーツ等の興隆、一般参加型スポーツイベントの拡大、スポーツツーリズムの地域間競争激化）

《市町村のニーズや課題》：市町村への意向調査結果

- 県内各スポーツ施設を活かした誘致競技の整理・情報発信
- 市町村を跨いだ大規模大会の開催の枠組みや仕組みづくり
- 大会・合宿を受入れ可能な宿泊施設の確保や広域的な情報共有の仕組み
- 大会・合宿等の受入実績のない市町村へのきっかけづくり

IV. 目指すべき方向性

（1）アーバンスポーツ等、全国に先駆けた新たなスポーツツーリズム市場の開拓

（2）地域経済を支えるプロスポーツチームの誘客力強化

（3）本県の観光資源と組み合わせたマラソンやサイクリング、ウェルネスコンテンツの開発など、県民の健康づくりや地域経済の活性化にも繋がる熊本ならではのスポーツツーリズムのさらなる充実

（4）市町村や競技団体、民間企業との連携によるコミッション機能の拡充及び県コミッションのプラットフォーム機能強化

（5）老朽化した県有スポーツ施設の創造的再生

V. 基本戦略

【戦略1】観光の柱となるスポーツの産業化やスポーツを通じた地域活性化

アーバンスポーツ等のスポーツイベントの観光資源化や、国際スポーツ大会やイベントの招致・合宿の誘致、プロスポーツの振興に取り組むとともに、県内有数の観光資源と組み合わせた誘客に取り組み、スポーツの産業化やスポーツを通じた地域活性化に繋げていく。

1 アーバンスポーツの聖地化と大会の招致・合宿の誘致

- ・聖地化に向けた推進体制の整備
- ・くまモンカップの開催等による交流人口拡大・機運醸成の推進
- ・アーバンスポーツの県内競技人口の拡大
- ・国際・国内大会の招致及び代表チーム合宿の誘致

2 国際スポーツ交流推進、大会・イベントの招致と合宿の誘致

- ・競技団体や市町村と連携した多様なスポーツ大会・イベントの招致、合宿の誘致
- ・多様なスポーツにおける国際交流の推進

3 プロスポーツの振興

- ・県内スポーツチームと連携した地域活力の向上
- ・観戦者等に対する県内各地への観光誘導

4 スポーツと産業を組み合わせた多様なツーリズムの展開

- ・スポーツ×エンタメ
- ・スポーツ×グルメ

【戦略2】県民の健康と地域経済を豊かにするコンテンツ開発

スポーツコンテンツのブラッシュアップ、商品化に加え、観光誘客はもとより県民も楽しめる（参画できる）熊本ならではの健康増進コンテンツの開発を進める。

1 スポーツコンテンツの開発

- ・温泉を活用したスポーツコンテンツの開発
- ・豊かな自然や食を活用したウェルネスコンテンツの開発や磨き上げ
- ・ヘルスケアプログラムの開発くくまもと観光×フィットネス>

2 誰もが参加できるスポーツの開催支援

- ・健康志向により人気が高く、誰もが参加できるマラソン等の推進
- ・県内各地の周遊を促進するサイクルツーリズムの推進
- ・子どもから大人まで楽しむことができるスポーツの普及促進

【戦略3】観光誘客・地域活性化に繋がる推進基盤の充実

スポーツコミッションのプラットフォーム機能強化や市町村コミッションの連携強化等によるスポーツコミッションの機能の拡充を行うとともに、くまもと新時代を創造する県有スポーツ施設の整備に取り組む。

1 スポーツコミッション機能の拡充

- ・市町村窓口（所管課）の明確化とコミッション設立支援
- ・市町村や競技団体との共創によるコミッションの推進体制の強化
- ・国内外の民間企業との共創による大会・イベント等の創造・誘致

2 人材育成

- ・推進役となる官民の人材・企業の発掘・育成

3 デジタル技術を活用したプロモーション強化・コンテンツの魅力化

- ・県及び市町村の大会・イベント情報の共有
- ・SNSを活用したプロモーション活動の展開・コンテンツの魅力化

4 地域活性化を実現する県有スポーツ施設の再生・整備

- ・社会ニーズに合わせた老朽化県有スポーツ施設の再生

5 持続可能なスポーツツーリズム推進や基盤整備のための財源の確保

- ・スポーツに関心の高い民間企業や県民からの財源の確保

VI. 目標設定

【戦略1】

・プロスポーツチームの観客動員数

ロアッソ熊本
現状 6,177人／試合
目標 8,000人／試合
熊本ヴォルターズ
現状 3,392人／試合
目標 3,500人／試合
火の国サラムダース
現状 392人／試合
目標 600人／試合

・国際スポーツ大会による誘客
現状 59,000人／年
目標 100,000人／年

・大会招致
現状 44件／年
目標 66件／年

・合宿誘致
現状 42件／年
目標 63件／年

・アーバンスポーツ大会による誘客
現状 5,400人／件
目標 10,000人／件

【戦略2】

・温泉と組み合わせたスポーツコンテンツ開発
現状 2件
目標 10件

・ウェルネス商品販売
現状 12件／年
目標 100件／年

・ヘルスケアプログラム開発
現状 0件／年
目標 10件／年

【戦略3】

・大会招致（再掲）
現状 44件／年
目標 66件／年

・合宿誘致（再掲）
現状 42件／年
目標 63件／年

・Webサイトアクセス数
現状 245,794回（累計）
※R7.8月現在
目標 300,000回（累計）

・スポーツ施設整備方針
現状 未策定（R6）
目標 4施設の整備の方向性に基づく施設の再生